

令和4年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章表現の効果を考える力が身に付いている。
- 漢字の仮名の大きさ、配列に注意して書く力が身に付いている。
- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることに課題がある。
- 互いの意図や立場を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題がある。

【算 数】

- 示された場面を解釈して立式し、その意味を説明する力が付いている。
- 図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質、構成の仕方について理解している。
- 百分率で表された割合を分数で表すことや割合を使って数量を求めることに課題がある。
- 示された場面や方法を解釈して活用することに課題がある。

【理 科】

- 実験で使う器具を理解し、正しい扱い方が身に付いている。
- 物質の状態変化について正しく理解している。
- 実験や観察などで得た結果を、他者の気付きや問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 読書を好きだと感じている児童が多い。
- 今住んでいる地域の大人と関わったり地域行事に参加したりする態度が身に付いている。
- 自分の思っていることや感じていることを、言葉で表すことに課題がある。
- 1日のうちにテレビゲームやスマホゲームなどのゲームに費やす時間の長さに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・専科による理科学習や算数科の重点単元における少人数指導や個に応じた補充学習の実施
 - ・国語・算数の基礎・基本の習得を図るためのスキルアップタイムの充実(端末ソフトの活用等)
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・立場を明確にして自分の意見を書く指導の充実
 - ・資料(統計資料、図、意見文、式、会話)を解釈する活動の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・家庭・地域・学校における読書活動の推進(うち読・読書ボランティアとの連携・委員会による活動)
 - ・地域の人材を積極的に活用した授業づくり
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・全校でのソーシャルスキル・トレーニングの定期的実施
 - ・家庭・地域・学校の連携(ルール作りや0ゲームデーの取組等)